

歳出予算事業概要書

款	04 衛生費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	1501000000				
項	01 保健衛生費							所属課名	健康対策課				
目	01 保健衛生総務費	0	0	1,760	1,506	0	0	内線番号					
大	066 5歳児健康診査事業							実施 計 画	部	子育てを支援し、お年寄りが元気な	実施計画計上額		
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『ひと』がいきいき			
小	00			0	0	0	1,506		節	安心して健やかにくらす健康と福			
細	0		0	0	0	0			細節	健康づくり・保健サービスの充実			
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳					
3歳児健診時には発見が困難である軽度発達障がい等を早期に発見して、対象児及び保護者に対し就学に向けた適切な支援を行う。					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額
					8	報償費	972						
					11	需用費	72						
					12	役務費	30						
					13	委託料	432						
					18	備品購入費	0						
2. 根拠法令 発達障害者支援法													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果													
軽度発達障がい児及びその疑いのある5歳児を対象とし、つぎの事業を実施する。													
(1) 巡回相談 市内保育園、幼稚園(56箇所)を臨床心理士等の専門職員が巡回して保護者及び保育士等に対し、園及び家庭においての問題行動についての相談に応じる。													
(2) 発達健診 軽度発達障がいの疑われる児に対する健診及びその保護者からの相談対応を保健センターで月一回実施。脳神経小児科医師、保健師、臨床心理士が適切な支援を行なう。また、必要に応じて専門機関の紹介を行なう。													
(3) 就学前教室 1教室4回とし、年3教室実施。保護者が軽度発達障がいの特性を理解し、適切な対応を行なうことができるよう支援する。また、軽度発達障がいのある児に対し、就学までの支援策の検討を行なう。													
6. 財源の説明													
1 財源内訳 すべて一般財源													
2 事務事業評価の反映状況 実施													
軽度発達障がい等を早期に発見し、対象児及び保護者に対し就学に向けた適切な支援を行うため実施が必要である。													
目的別 性質別													